

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公開番号】特開2018-8144(P2018-8144A)  
 【公開日】平成30年1月18日 (2018.1.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-002  
 【出願番号】特願2017-202826(P2017-202826)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月6日 (2018.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件が成立すると、その後、当り抽選を実行し、前記当り抽選において当選している場合、通常遊技状態からより有利な特別遊技状態に移行させる遊技制御手段と、

払出装置と、

前記遊技制御手段の制御によって前記払出装置による遊技媒体の払出動作を制御する払出制御手段と、

表示装置と、

操作部と、

を備えた遊技機において、

さらに前記遊技機は、払出動作にかかる異常を契機に前記表示装置に払出動作について異常な状態であることを表示する報知制御手段を備えるものであり、

前記報知制御手段は、前記操作部の操作を契機に前記表示装置による表示を正常な状態の表示に戻す

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで、特許文献 1 のような遊技機では、遊技機が複雑化するがゆえ遊技機にエラーが生じると、そのエラー対処に掛かる時間が長くなってしまい、遊技者に対し不要な焦りや不満を感じさせるおそれがあった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、できるだけ早くエラー対処を完了させることができ、遊技者に対し不要な焦りや不満を感じさせにくくする遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した目的を達成するために、本発明に係る遊技機では、始動条件が成立すると、その後、当り抽選を実行し、前記当り抽選において当選している場合、通常遊技状態からより有利な特別遊技状態に移行させる遊技制御手段と、払出装置と、前記遊技制御手段の制御によって前記払出装置による遊技媒体の払出動作を制御する払出制御手段と、表示装置と、操作部と、を備えた遊技機において、さらに前記遊技機は、払出動作にかかる異常を契機に前記表示装置に払出動作について異常な状態であることを表示する報知制御手段を備えるものであり、前記報知制御手段は、前記操作部の操作を契機に前記表示装置による表示を正常な状態の表示に戻すことを特徴とする遊技機。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る遊技機によれば、遊技者に対しエラー対処の遅れによる不要な焦りや不満を感じさせにくくすることができる。